

指導案 大阪府立富田林高等学校

1. 日時 2019 年 6 月 18 日（火）
2. 場所 府立富田林高等学校 北館 2F 社会科教室
3. 学年・組 第 2 学年 EF 組 （ 4 月より編成された 2 クラス 3 展開の少人数 30 名クラス ）
4. 使用教材 英語表現Ⅱ ENGLISH EXPRESSIONⅡ （桐原書店） Lesson 4 Active aging I can write about interesting news ニュースの感想を述べる
配布プリント AGING SOCIETY(記事 2 つ) Ideas for Solution (記事 4 つ)
5. 単元目標 レッスン毎の文法事項や表現を参考にしつつ、各レッスンで提示されたテーマを考え、読み手を意識し、状況に合った英文を書くことができるようになる。
6. 教材観 自己紹介、日記、ブログ、ニュースの感想を書く、というようにレッスンごとにライティングの目的が高度になっている。本時については、教科書のニュース記事及び関連資料を読ませることにより、生徒の知識を深めつつ自分事として感想書かせることをねらいとしている。
7. 生徒観 (略)
8. 指導観
聞くこと：生徒が「内容を聞きたい」と思わせるしかけをする事で、聞く態度や聞く力を育てる。
読むこと：内容を大まかに把握し、興味のあることを拾えるように導く。
話すこと：テーマや指示に合わせたペアとの 1－2 分の会話は楽しめる。NET との授業で触れた response もより多く使えるよう、また、フルセンテンスで話すように指導していく。
書くこと：昨年 1 年間の英語表現の授業で 30 本の英作文をしてきたので、ハードルは低いが、参考モデル文や構成の補助がなくても書けるように段階を追って指導をしていく。

9. 単元の評価規準

A コミュニケーションへの関心・意欲・態度	B 外国語表現の能力	C 外国語理解の能力	D 言語や文化についての知識・理解
①テーマにかかわる会話やペンパルへの初めてのメールを相手を意識して話したり書いたりすることができる。	① 語彙や文法を書きたいことに合わせて使い、テーマに沿った自分の考えやそれをサポートする経験などとしてかくことができる。 ② 事実と意見を区別して書くことができる。		①場面や状況にふさわしい文法事項や表現をその効果を理解して使うことができる。

10. 本課の指導と評価の計画（5 時間）

時	生徒が学習する内容	主な評価規準と評価方法
第 1 時	○ペンパルに初めてのメールを書く ・ ネット上のペンパルサイトを 2 つ見る。 ・ 初めてのメールを書くコツを講義形式で学び、メモを取る。 ・ メモを参考にして、選んだペンパルにメールを書く。	A①観察 B①作品
第 2 時	○日記を書く ・ 生徒が苦手としている文法事項（SVOC）の確認 ・ SVOC と日記に使える表現を使って日記を書く	B①作品 D①作品
第 3 時	○ブログを書く ・ 「成功するブログの書き方」というブログからブログの書き方を学ぶ ・ いくつかのブログを参考に、niche blog を書く	A①観察 B①作品

第4時(本時)	○ニュースの感想を書く ・ペアの人生設計を聞く ・日本の人口問題についての記事を読み、原因や問題点を知る ・解決への試みのある事を知る ・記事から知った事実と自分の意見や感情をまとめて、感想文を書く	B①②作品 D①作品
第5時	○これまでの4つの作文を振り返る ○復習文法事項を振り返り、定着をはかる。	D① ワークシート

11. 本時の目標 ニュースの内容を自分に身近な問題として捉え、解決策に思いをはせて、自分の考えを書く。その際に事実と意見の違い、事実の引用に便利な表現に留意させる。また書き手の感情を文章に入れることで、読み手との距離が縮まることを感じる。

12. 本時の学習過程

時間	生徒の学習活動	指導内容及び指導上の留意点	評価規準
導入1 5分	○前時に書いたblogのシェア	○前時の内容を思い出させる ○ペアの作品を読んで感想を言う ○ワークシートを回収する	
導入2 17分	○人生設計を聞き合う(5分) ○日本の人口問題や原因を知る ○感情を伝え合う	○教師―生徒(見本)⇒ペアで会話⇒生徒―生徒(発表) ○プリント配付 <u>Japan's changing population</u> 右:1パラ左:2パラを読む→内容を日本語でペアに伝える パワーポイントで全体確認(1パラ2パラの要点と3パラ以降の問題点) <u>Aging in Japan</u> 全体で問題点確認→理由2つ個人で探す→理由2つ発表→パワーポイントで問題点確認 ○日本の未来についての感情を表現させる *生徒間で感情の共有をさせるとともに、変化の必要性を喚起させる。	
展開1 13分	○解決への試みを知る ○本時のゴールを知る	○HAL、消費税アップについて口頭で説明する。 *それぞれ昨年コミュ英教科書本文抜粋、昨年の生徒作文を参考資料として見せる。 ○本時の作文のテーマを示す「Write how you feel and what we should do for our future」 ○プリント配付:追加の記事から、さらに様々な試みのあることやその内容について知る。	
展開2 8分	○テーマに対し、ループリックに沿って作文する	○授業内で知った解決への試みを参考に、日本の将来像を考える。ループリックや、Useful Expressionsを参考にして書く。	B①②D① 提出物
まとめ 2分	○宿題確認 ○次回は単元復習の授業	○教科書P16-17の問題をして、答え合わせ、直しをする。作文を仕上げる。 ○次回はSVOCを中心に復習するので、教科書P12-13の例文を返却されているワークシートを見て音読してくる。	